

小野だより

令和5年度前期学校評価号
京都市立小野小学校
校長 審居 繁治



学校教育目標
「互いを認め合い、すすんで学び続ける児童の育成」
☎075(571)8282 Fax 075(571)8199

令和5年度学校評価【前期】

7月にご協力いただきました前期学校評価アンケート結果についてお知らせします。
結果は「よく出来ている」「大体できている」と回答された数の合計の割合（%）です。
増減がない項目は、質問内容を変更した項目です。

No	児童への質問	R4【後期】	R5【前期】	増減
1	学校に行くのが楽しい。	88.6	83.7	-4.9
2	学校で習ったことは、よくわかる。	88.1	88.5	+0.4
3	先生や友だちの話を、最後までしっかりと聞いている。	93.0	93.4	+0.4
4	授業中、ペアやグループ、学級全体で自分の思ったことや考えたことを話すことができる。	82.6	81.7	-0.9
5	授業中、自分が思ったことや考えたことを文章に書くことができる。	82.6	87.8	+5.2
6	先生や友だちに元気のよいあいさつをしている。	78.4	84.4	+6.0
7	学校のきまりや約束を、きちんと守っている。	90.4	92.0	+1.6
8	当番や係の仕事を、最後までやり切っている。	96.4	97.5	+1.1
9	人の嫌がるようなことはせず、友達と仲良くしている。	94.8	92.9	-1.9
10	自分から進んで宿題や家庭学習をしている。	74.5	84.2	+9.7
11	家で本を読んでいる。	54.0	61.2	+7.2
12	忘れ物をしないように、寝るまでに次の日の時間割を合わせている。	81.3	85.5	+4.2
13	寝る時刻や起きる時刻を決めて、守っている。	65.5	72.1	+6.6
14	ゲームや携帯（スマホ）をする時間を家の人と決めて、守っている。	67.5	72.5	+5.0
15	朝ごはんを毎日食べている。	89.4	93.2	+3.8
16	進んでお手伝いをしている。	66.0	71.9	+5.9
17	学校での様子を、家の人に伝えている。		80.2	

No	保護者への質問	R4【後期】	R5【前期】	増減
1	子どもは、楽しく学校に通っている。	93.4	96.5	+3.1
2	子どもは、学校で習ったことをきちんと理解している。	85.2	90.2	+5.0
3	子どもは、人の話を最後まで聞くことができる。	78.4	80.2	+1.8
4	子どもは、自分の思いや考えをしっかり話すことができる。	68.1	79.8	+11.7
5	子どもは、自分の思いや考えを文章に書くことができる。		65.3	
6	子どもは、進んであいさつができる。	65.8	71.1	+5.3
7	子どもは、家の約束や社会のルールを守っている。	84.4	87.3	+2.9
8	子どもは、やるべきことを最後までやり切ることができる。	79.8	90.0	+10.2
9	子どもは、人の嫌がるようなことはせず、友だちと仲良くしている。	94.7	95.4	+0.7
10	子どもは、自分で計画を立てて、宿題や家庭学習をきちんとしている。	60.5	68.8	+8.3
11	子どもは、家で読書をしている。	32.8	40.7	+7.9
12	子どもは、忘れ物をしないように、寝るまでに次の日の時間割を合わせている。	74.5	74.6	+0.1
13	子どもは、寝る時刻や起きる時刻を決めて、守っている。	60.0	74.6	+14.6
14	子どもは、家庭でゲームや携帯（スマホ）をする時間を決めて、守っている。	55.5	62.5	+7.0
15	子どもは、毎日朝ごはんを食べている。	93.7	98.3	+4.6
16	子どもは、進んでお手伝いをしている。	56.1	61.3	+5.2
17	子どもは、学校での様子を家で話している。		80.8	

Nº	教職員への質問	R4【後期】	R5【前期】	増減
1	児童は、楽しく学校に通っている。	100.0	100.0	0
2	児童は、学習したことをきちんと理解している。	81.3	80.0	-1.3
3	児童は、人の話を最後まで聞くことができている。	37.5	46.7	+9.2
4	児童は、授業中、ペアやグループ・学級全体で自分の思ったことや考えたことを話すことができる。	87.6	80.0	-7.6
5	児童は、授業中、自分が思ったことや考えたことを文章に書くことができる。	87.6	53.4	-34.2
6	児童は、誰に対しても元気のよいあいさつができる。		66.9	
7	児童は、学校のきまりや約束をきちんと守っている。	68.8	86.6	+17.8
8	児童は、当番や係の仕事を最後までやり切っている。	87.6	100.0	+12.4
9	児童は、人の嫌がるようなことはせず、友達と仲良くしている。	93.8	100.0	+6.2
10	児童は、宿題や家庭学習をきちんとしている。	100.0	93.4	-6.6
11	児童は、朝読書や図書室活用などを通して、本に親しもうとしている。		93.4	
12	児童は、学習の準備などを忘れることなく持ってきてている。		73.3	

アンケートの結果から

◎成果

⑩「自分から進んで宿題や家庭学習をしている」

児童 84.2% (後期比+9.7%) 保護者 68.8% (後期比+8.3) 教職員 93.4% (-6.6%)

この質問は、前年度の後期のアンケート結果で、児童・保護者共に肯定的な回答が占める割合が低く、課題としてあげさせていただいた項目でした。その際に、「ご家庭でも、決まった時間に机に向かう学習習慣や、復習を中心とした学習を進められるようにお声かけいただき、家庭学習で悩まれていることもお気軽に学校へご相談いただければと思います。」と書かせていただいていました。そのことをご家庭のほうで意識して取り組んでいただいた結果がこの数字に表れているのではないかと思います。学校のほうでも引き続き、家庭学習の必要性や予習・復習の学習習慣の大切さなどを子どもたちに伝えていくとともに、自主学習の内容や良い見本例なども機を見て紹介していくようにしていきたいと思います。保護者の皆様におかれましても、学級懇談会や希望制の個人懇談会などにもぜひご参加いただき、普段悩まれていることを共有して、学校とご家庭で協力して子ども達の成長のために考えていただければ幸いです。

◎課題

⑤「授業中、自分が思ったことや考えたことを文章に書くことができる。」

児童 87.8% (後期比+5.2%) 保護者 65.3% (初項目) 教職員 53.4% (後期比-34.2%)

この質問は、子どもたちは 80%と肯定的な回答の占める割合が多かったですが、保護者、教職員ともに肯定的な回答が占める割合が低かった項目の 1 つです。保護者の方々に回答していただくのは今回が初めての項目になりますが、3 ~ 4 割の方が、子どもが思いや考えを文章に表すことを苦手と捉えておられることが分かりました。教職員のほうでも前年度後期比で 34.2% 低くなっていました。教職員のほうでは、前年度前期も肯定的な回答の占める割合が低かったのですが、1 年間の「書く」に関する指導を通して後期では肯定的な回答が増加するという傾向が見られました。本校では、今年度の研究テーマに「思いを伝え合い、考えを深め合える児童の育成を目指して～書いて表現する力の育成を意識した授業づくりをもとに～」と設定して日々の学習を進めています。1 年間「書く」を意識した授業作りをしていくことで、児童の自己評価だけに限らず、客観的に見ていただける保護者の方々にも肯定的な回答をいただける子どもたちを育てていきたいと思います。ご家庭でもお子様が自分の思いや考えを書く様子を見ていただける機会がありましたら、少し気にかけていただけるとありがたいです。今後とも、学校教育活動にご協力よろしくお願ひいたします。